

2016 年度

公益財団法人東京子ども図書館

年次報告

〒 165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2017 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <http://www.tcl.or.jp>

オンリー・コネクト ——ただ結びつけること

理事長 張替恵子



P・L・トラヴァースは、1967年に米国議会図書館でおこなった講演 Only Connect *で、自作「メアリー・ポピンズ」が生まれた背景を語っています。オーストラリアで過ごした幼少期の読書や、のちに移り住んだ英国やアイルランドでの詩人らとの交流などを通じて愛着を深めた神話や昔話、わらべ唄が創作の源泉だったと知り、愛読者は納得するのではないのでしょうか。作家自身も意識しないうちに、それらの伝承文学の断片がおのずと結びついて、あの謎めいた人物をめぐる物語が誕生したのです。

学生時代にこの文章に出会って以来、何度か読み返してきた私にとって、「オンリー・コネクト」ということばは、いつのまにか、おまじないのようになっていました。なぜなら、図書館の仕事は——本選びも、目録作成も、展示も、学校訪問も——みな本と読者を結びつけるためのものですし、考えを結びつけることで新しい試みをはじめることができるのですから。

2016年度は、このオンリー・コネクトのありがたみをしみじみ実感する年でもありました。子どもと本をたのしく結ぶブックトークの実践を、今までの受講生の力をお借りしてブックレットにまとめたこと、「愛蔵版おはなしのろうそく」を全国の子どもたちに届けるプロジェクトや講師派遣などで目標を上回る実績をあげられたこと、蔵書のデータベース化を元都立図書館職員のベテラン方が着実に進めてくださったこと、月例お話の会の前に、事務作業のお手伝いを申し出てくださいる方々が絶えずあったことなど、どれも、当館の40年以上にわたる活動を支えてきてくださったみなさまとの結びつきがもたらしてくれた果実です。

そして、刊行は年度をまたぎましたが、「児童図書館基本蔵書目録」の2巻目『物語の森へ』が、多くの方たちの力の結集によって、ついに完成しました。前巻同様、キーワードで本と本をつなぎ、読者に結びつける件名索引を充実させました。今後は、ここに選りすぐった1冊1冊が新しい読者に届くよう、作家や出版者も含め、子どもの本に関わる人たちの結びつきを強めていきたいと考えています。

* 「ただ結びつけることさえすれば」(猪熊葉子訳)『オンリー・コネクト 2』イーゴフほか編 岩波書店 1979 p.122-160



概況

今年度は、「おはなしのろうそく」をすべての子どもたちに！——みんなで愛蔵版を贈ろうプロジェクト”（2頁参照）を、館全体の活動の柱として推進しました。財政状況が切迫するなかで、本プロジェクトが果たした役割は、大きなものとなりました。

『物語の森へ』（児童図書館基本蔵書目録2）は、年度末を目処に、職員一丸となって編集作業を進めていましたが、刊行は、2017年5月末へと延期になりました。

児童室は、来館者数、貸出数ともに増加しました。利用者の低年齢化の中、乳幼児のお子さんをもつ保護者の方々にも、積極的に当館との関わりをもっていただけるような工夫をしています。ひとつは、3歳未満の子をもつ保護者を対象にした「プレ登録」、もうひとつは、月に1度、児童室のお話会に、親子で参加できる「親子いっしょのおはなし会」です。こうした取り組みの効果が少しずつ現れ、利用者の増加に繋がっていることをうれしく思います。

かつら文庫一般公開は、3年目に入り、施設維持のための必要経費として、ご案内料を徴収することになりましたが、昨年度と変わらずに、たくさんのお客さまが足を運んでくださっています。

元都立図書館の方々のボランティア協力により、昨年度に引き続き、蔵書データベース公開に向けた、蔵書の廻り入力作業が進められました。着実な歩みに助けられています。

財政面では、みなさまにご心配をおかけしましたが、無事に年度を終えることができました。これは、出版物の新規企画を立ち上げる一方、増刷を一部次年度送りにしたり、発行部数を調整したりしたほか、役職員による講師派遣や講座・お話会の増設などにより、収支のバランスをとったことによります。厳しい状況が続いておりますが、次年度は『物語の森へ』の販売促進に力を入れる等、より一層の努力を重ねて参りたいと思います。



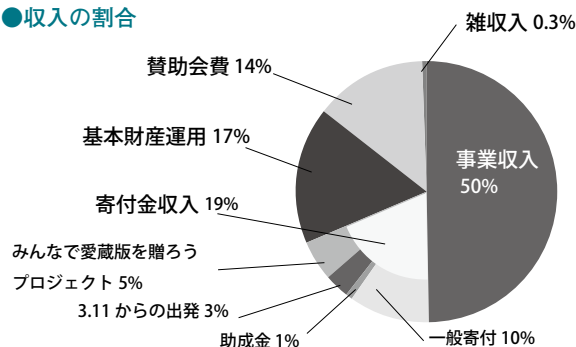
当館児童室クリスマス会で

松岡享子名誉理事長は、連続講座やお話の講習会の講師、「3.11からの出発」事業の被災地訪問や、各地への出張、原稿執筆などの仕事をこなし、そのうえバザーの、手作り品の店「ねこや」のために編み物や裁縫も……と、さまざまな面でわたしたちを支えてくださっています。

財務状況について

今年度は『物語の森へ』編纂に精力を集中する傍ら、事業費増収を図りました。その甲斐あって、講師料、出版物売上収入、取材協力費などが増え、収入全体に占める事業費の割合が例年を上回る50%となりました。これに加え愛蔵版プロジェクトや応援缶バッジによるご寄付が大きな支えになりました。支出でも、増刷のための出版費や修繕費などを抑え、かろうじて収支のバランスをとることができました。今後も財政の健全化につとめてまいりたいと思います。

●収入の割合



■財務諸表

貸借対照表 2017年3月31日現在 (単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部	794,738,852	II. 負債の部	18,090,917
1. 流動資産	52,544,231	1. 流動負債	18,090,917
現金預金	29,137,767	未払金	2,854,654
売掛債権	3,525,724	前受金	14,196,837
販売用図書	17,543,402	預り金	1,039,426
機関誌	2,337,338	III. 正味財産の部	776,647,935
2. 固定資産	742,194,621	1. 指定正味財産	0
(1) 基本財産	659,928,651	2. 一般正味財産	776,647,935
土地	361,224,400	負債及び正味財産合計	794,738,852
建物	219,450,273		
著作権	39,253,978		
定期預金	40,000,000		
(2) その他の固定資産	82,265,970		

正味財産増減計算書 2016年4月1日から2017年3月31日 (単位:円)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

① 経常収益

科 目	金 額
基本財産運用収入	18,520,405
基本財産利息収入	31,384
基本財産配当収入	540,875
基本財産印税収入	17,948,146
寄付金収入	20,384,550
助成金	650,000
3.11 からの出発	3,405,459
一般寄付	11,065,320
みんなで愛蔵版を贈ろうプロジェクト	5,263,771
賛助会費	14,900,100
事業収入	54,345,934
機関誌購読料	8,107,481
講習会・講演会・お話し	3,460,300
催事収入	226,900
展示物閲覧料	191,500
講師料	4,910,112
登録料	37,000
施設使用料	399,540
出版物売上収入	36,068,343
取材・資料協力費	944,758
雑収入	343,657
受取利息	216
雑収益	343,441
当期収入合計	108,494,646

② 経常費用

科 目	金 額
事業費	98,547,353
人件費	52,937,617
図書館費	119,983
機関誌発行費	4,594,034
講習会・講演会・お話し	1,214,021
調査研究費	80,508
人材育成費	2,155,128
催事費	57,867
広報活動費	876,838
おばあさんのいす事業	4,762,416
出版費	13,216,212
在日ブラジル人・読書支援活動	650,935
3.11 からの出発	4,959,744
一般諸費	3,359,287
減価償却費	5,790,963
諸会費	49,700
租税公課	3,722,100
管理費	9,540,359
人件費	6,817,381
事務費	1,184,618
一般諸費	528,262
減価償却費	778,968
諸会費	162,730
租税公課	68,400
経常費用計	108,087,712

2. 経常外増減の部

科 目	合 計
法人税等	70,000

II 期末正味財産の部

科 目	合 計
当期一般正味財産増減額	336,934
正味財産期首残高	776,311,001
正味財産期末残高	776,647,935